



2012年11月2日

---

## 献血功労者厚生労働大臣感謝状受彰について

---

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎)は、この度献血運動の推進に関し、積極的に他の模範となる実績を示した会社等に贈られる「厚生労働大臣感謝状」を受彰しました。昨年の東京都知事感謝状に続き、2年連続の受彰になります。10月31日に東京都庁にて伝達式が行われ、感謝状と記念品が贈呈されました。

これは、当社が1971年より41年間継続して、日比谷本社内に献血会場を設けて職員を対象とした献血活動を推進してきたことに加え、2011年度に開設した豊洲本社においても実施している点や、社内の啓発活動に積極的に取り組むことで、動員にも結びつけている点などが評価されたものです。

当社は、国民の健康増進を当社が解決すべき重要な社会課題と位置づけ、DSR (Dai-ichi's Social Responsibility) 経営の一環として「健康経営」を推進しています。創業以来、生命保険会社として国民の健康を望む気持ちに込めていくという社会的な使命感のもと、結核患者向け診療施設開設(1935年)、心疾患に対する医療・研究を行う「心臓血管研究所」の設立(1959年)、厚生労働省等の後援のもと保健衛生向上を図る目的で「保健文化賞」(注)の創設(1950年)等、国民病に対する取り組みを行ってきました。さらに、本年1月に、(独)国立がん研究センターとがんに関する情報提供について包括的連携協定を締結し、セミナーの運営や、約4万名の「生涯設計デザイナー」を通じてがん啓発に向けた各種の情報提供を行っています。また、当社のお客さまを対象とした健康・医療・介護サービスである「メディカルサポートサービス」の提供も本年4月より開始するなど、お客さまへの健康啓発活動に取り組んでいます。

献血につきましても、けがや病気の治療で輸血を必要とする方々の健康を取り戻すために役立てられる、健康の増進に資する取り組みであると考えています。当社では、日比谷本社および豊洲本社にて毎年2回献血活動を行っているほか、全国各地の支社・事業所においても積極的に推進しています。

当社は今後も健康の増進および献血活動に継続的に取り組んでまいります。

(注)「保健文化賞」:保健衛生および関連する福祉の分野で顕著な業績を挙げた団体・個人を顕彰する賞